

サイバーホールで楽しむ子どもたち



ファミリープレイランド・2016

大型遊具で大はしゃぎ

子育て支援センター「あいポケット」で、11月18・19日、「ファミリープレイランド・2016」が開催されました。

同イベントは、子どもの成長に大切な遊び体験を、親子で楽しみながら、親子同士も交流しながら、子育てへの意欲を高めてもらうことを目的とし、今年で3回目。2日間で324人の親子連れらが来場し、3つのコーナーに設置された、身体や手先を使って遊べる遊具を体験しました。

子どもたちは、からだ遊びコーナーでは、ボールプールに入り込んで遊んだり、組立遊びコーナーでは、磁石付のブロックを使って様々な組み合わせに挑戦したりしていました。

また、目玉となる大型の遊具が設置されたコーナーでは、筒状の大きなビニール「サイバーホール」の中に入り、全身を使って転がりながら前に進むなど、親や友だちと一緒に、大はしゃぎで楽しんでいました。

参加した藤井美杜ちゃん(1)の母親は、「とても良かったです。こんなに娘が遊ぶとは思いませんでした。特にトランポリンのような遊具が気に入ったみたいです」と笑顔で話していました。



ボールプールで遊ぶ子どもたち

慣れた手つきで硬貨を仕分ける女性会員たち



地域福祉に愛を寄付

八幡市老人クラブ連合会

八幡市老人クラブ連合会の会員が「1日1円」を合言葉に少しずつ貯めてきた「愛の貯金箱」の開封作業が11月21日、福祉会館で行われました。

愛の貯金箱は、昭和56年から続く活動で、今年で36回目。今年の2月に各会員宅に約5千箱が配布され、会員たちは、買い物のお釣りなどをコツコツと貯めてきました。

会場には会員約70人が、4つのテーブルに分かれて

「1日1円」合言葉に貯金

作業を開始。テーブル上には、開封された貯金箱から、次々と硬貨が積まれていき、見る見るうちに愛と善意の山に。

会員たちは、最も数の多い1円玉と、それ以外の硬貨を慣れた手つきで素早く仕分けし、袋詰めしていました。

市内7カ所の郵便局で集計された合計金額は、98万1千344円。全額が市に寄付され、地域福祉に役立てられます。

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

パス！小学生16チーム熱戦 アタック!!

ドッジボール大会

さくら小学校グラウンドで、11月20日、「平成28年度ドッジボール大会」が開催され、市内の各小学校から低学年9チーム、高学年7チームが出場し、それぞれの部で優勝を目指し、熱い勝負を繰り広げました。

同大会は、ドッジボールを通じて他校との交流や、子どもたちの友情を深めてもらうことが目的。八幡市青少年育成指導委員会の主催で毎年行われてい

各チームの子どもたちは、トーナメント方式で対戦。外野とコート内のチームメイトが、素早いパス回しを行い、外野の両サイドからアタックするなどして、相手のすきを突く見事なプレーを見せていました。

決勝戦では、両チームのクラスメイトや保護者たちが、「行けー！」「頑張れー！」と、大きな声援を送る中、相手の投げたボールを近距離でキャッチしたり、ひらりとかわしたりするたびに、拍手や歓声が沸き起こっていました。



決勝戦で勝負を繰り広げる子どもたち

横断幕を掲げて行進する参加者たち



日本一安全・安心なまち目指して

約700人パレード

住民の防犯意識を高め、地域が一体となり、犯罪を防ごうと、「安全・安心のまちづくり」パレードが11月23日、八幡市民体育館を拠点に開催されました。参加者約700人が地域を行進し、啓発を行いました。

今年で13回目となる同パレードは、八幡市自治連合会の主催で、市内を6地域に分けて平成16年から毎年開催されています。出発前に行われた記念式典では、同連合

会会長の上原嘉昭さんが「パレードを継続していくことで、まちがより良くなっていくのではないかと思います。これからも、日本一『住んで良かったまち』・日本一『安全で安心なまち』を目指して頑張っていきます」とあいさつ。また、「安全・安心のまちづくり」に貢献された6人に感謝状が贈呈されました。

パレードでは、京都府警察の音楽隊や平安騎馬隊の先導に続いて、黄色の防犯ベストを着た参加者たちが「振り込め詐欺注意」や「暴力追放」といったプラカードを掲げ、約2.4kmを行進。防犯意識の向上を地域住民に訴えていました。